

令和4年度学校自己評価システムシート (県立ふじみ野高等学校)

目指す学校像	これからの時代をたくましく生きる知・徳・体を育むとともに、仲間とともに学習にスポーツ・文化活動に全力でチャレンジし、地域に元気・感動・夢を発信する学校
--------	---

重点目標	1 主体的に取り組む学習活動の推進 2 自律的な規範意識と他を尊重する精神の向上 3 自己実現を目指したキャリア教育と進路指導の実践 4 部活動・生徒会活動や体験活動を通じた人間力の育成
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○現状 約9割の生徒が授業の内容を理解しているが、家庭学習は約半数が習慣化できておらず、学習意欲を伸ばし継続的な学習への環境改善が必要である。 ○課題 ・ICTを一層活用し、生徒の興味・関心を引き出し、主体的に取り組む授業と家庭学習のサイクルを定着させる。 ・学習の到達目標へスモールステップでの課題設定や環境づくりを行う。 ・新学習指導要領のねらいを踏まえた授業改善を行う。	授業以外の学習活動の取組と基礎学力の定着	①ICT 機器の活用や生徒の主体的・対話的な学習活動をさらに工夫する。 ②授業の予習復習、学習アプリの継続的な活用、スモールステップの課題、小テストを実施する。 ③各学年の進路指導をふまえ、英検、漢検等、各種検定の受検機会を提供する。	①タブレットやプロジェクター等のICT機器活用状況 ①生徒による発表場面設定状況 ②家庭学習の定着状況(平時の家庭学習時間0時間の生徒の割合) ②学習アプリの活用状況 ③各種検定の実施状況と受検者数及び合格状況 ④基礎力診断テスト結果の状況			
2	○現状 出席状況、身だしなみ、清掃活動、自転車通学者の交通マナー等の基本的な生活習慣等は概ね良好であるが、本校生徒の一員としての自覚や責任ある行動、他の生徒への配慮や協力など、意識の向上が必要である。 ○課題 ・生徒の規範意識を更に高めるため、継続して生活指導を行っていく必要がある。 ・さまざまな悩みを抱えている生徒に対し、関係者が連携して対応する相談体制をつくる。	地域に元気・感動・夢を与える自覚と行動	①生活指導、交通安全マナーアップ、校内環境美化を徹底する。 ②年間を通じて遅刻指導を継続し、特定期間を重点的に指導する。 ③二者面談、三者面談の実施、スクールカウンセラーの活用等、生徒の悩み、不安を解消するため組織的に教育相談を実施する。	①自転車点検、通学指導、交通安全教室の実施状況 ①(学校生活に関するアンケート)「挨拶、マナー順守、校内美化」の状況 ②出席状況(出席率99%以上、皆勤者数60%以上) ③相談体制の状況(学校生活に関するアンケート「相談しやすい環境となっているか」) ③面談の実施状況、SC、SSWへの相談件数や対応状況			
3	○現状 生徒一人一人の進路希望に応じた進路指導が行われ、3年間を見通した進路指導により生徒の希望している進路実現ができてきている。 ○課題 ・模擬テスト等の実施の効果を高めるため、継続して職員研修会を実施する必要がある。 ・学校行事を精選するとともに、進学補講を組織的に進め、学力向上に努めていく必要がある。 ・進路行事(学年別進路説明会、模擬面接会等)を更に充実させる。	1・2学年における段階に応じた希望進路の明確化及び3学年における第一希望進路の実現	①キャリア教育と関連付け、志望分野別のガイダンスや各種説明会を、段階的に内容を工夫して実施する。 ②進学志望者の希望校合格に向けた補講や面接指導(2学年から)・小論文指導(1学年から)を実施する。 ③基礎力・実力診断テストの分析情報の共有と進路指導へ活用する。 ④就職希望生徒にふじみ野市と連携した面接会を実施する。 ⑤保護者対象の進路説明会を開催し十分な情報提供を行い、生徒と進路意識を共有する。	①分野別ガイダンス・各種説明会の実施状況 ②進学補講、面接・小論文対策講座の実施状況 ③診断テスト分析会の実施状況 ④模擬面接会の実施状況 ④学校斡旋就職状況(就職率100%を達成できたか) ⑤保護者アンケートの状況(十分な情報提供がされているか)			
4	○現状 これまで2年以上にわたり新型コロナ感染拡大により学校行事や部活動等の活動が制限され、生徒の自主的な活動の機会が減少した影響は大きい。 ○課題 ・感染防止に配慮した活動の工夫を行い、多様な体験活動や生徒同士の交流を通して人間力を育成することが重要である。 ・地域と連携した活動の機会を積極的に活用する。 ・積極的に本校の魅力発信を行う。	部活動、生徒会活動や体験活動の充実	①文化祭、体育祭、修学旅行、野外実習(SS科)等の活動を実施する。 ②外部指導者を活用する。 ②主体的な部活動に取り組む。 ③地域の学校や市民との交流やボランティア等の機会を積極的に活用する。 ④本校の特色や魅力を地域に積極的に発信する。(学校HP、地方放送局の活用)	①各行事の実施状況 ②外部指導者の活用状況 ②部活動の実績および活動状況 ③近隣小・中学校や大学との連携状況、ふじみ野市イベントへの参加状況、ボランティア参加状況 ④本校ホームページの情報発信や地方FM局を活用した広報活動状況			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和 年 月 日	
学校関係者からの意見・要望・評価等		

